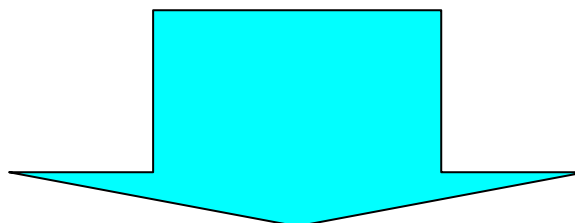


## 被害想定の見直しにあたって対象とする地震（案）

現在の地震（津波※1）の被害想定の対象となった地震			
タイプ	海溝型地震	直下型地震	
震源域	南海トラフ (南海／東南海・南海)	中央構造線 (三野・池田断層)	長尾断層
発生確率 (30年以内) ※2	60%程度 (南海地震)	ほぼ0～0.3%	ほぼ0%

※1 津波については、東南海・南海の2連動地震を対象としている。

※2 文部科学省地震調査委員会の公表によるもので、H23.1.1現在の数値。



### 今回の被害想定見直しにあたって対象とする地震の考え方

#### (1) 南海トラフを震源域とする海溝型地震

⇒ 発生確率が高く、国で検討されたモデルを踏まえて、早急に見直しを行う。

#### (2) 本県又は周辺地域にある活断層を震源域とする直下型地震

⇒ 発生確率が高い(1)の南海トラフを震源域とする海溝型地震を先行させ、その後、本調査委員会の意見も踏まえ、見直しの要否も含め検討する。